

岩倉市タウンミーティング（石仏町区）会議録

日時 令和 8 年 5 月 30 日（土）
午後 1 時 30 分～午後 3 時
場所 大地町公会堂

出席者 大地町区 41 名

市長、副市長、建設部長、都市整備課長、整備グループ長、計画営繕グループ長、
スマートインターチェンジ整備グループ長、秘書人事課長、秘書広報グループ長

1 あいさつ

- ・大地町区長 宮川 隆 氏
- ・久保田市長

2 懇談

テーマ スマートインターチェンジ計画と土地利用計画の今後について
都市整備課長からテーマについての説明後に懇談

【参加者】 萩原多気線については、いつ頃に全線開通するのか。

【都市整備課長】 岩倉工区については、今年度開通する予定をしている。加茂伝法寺線から西側の区間については、2～3年前に県で事業化されたばかりであり、現在は用地買収に向けた準備段階となっている。区間の距離も約 1.4 キロと長く、名神高速道路から西側は現状では整備が進んでおらず、原野のような状況であるため、埋蔵文化財の調査等も今後必要になると想定している。

岩倉市としては、萩原多気線は東西の重要な軸であると考えている。スマートインターチェンジの開設に合わせて、加茂伝法寺線から名神高速道路の北側の側道までの区間を早期に整備してもらえるように愛知県へ強く要望しているが、具体的な開通時期等は未定になっている。

【参加者】 そこが繋がらなければ、県道 25 号線のように、通行に不便が生じてメリットが半減してしまう。

【市長】 県もスピード感を持って対応してもらえると聞いているが、早期実現に向けて引き続き強く要望していく。一宮市側は区画整理をする予定があるので、それとともに整備されていく。

【参加者】 2点確認させて欲しい。今回のマスタープランにおいて、工業地域の北側が「地域振興拡大検討ゾーン」として設定された。このゾーン化により、企業による開発がなぜ抑制されるのかという点と、今後、市として具体的にどのような開発を検討しているのか、教えて欲しい。

【市長】 「地域振興拡大検討ゾーン」の設定の意図は、市としての意思表示がはっきりできるということ。鈴井町の北側では、方針を示していなかったためにヤードができてしまった。市として指針を示すことで、企業に対して周辺環境への配慮を求める狙いがある。

2点目について、従来のマスタープランでは、住宅系・産業系といった区分が明確だった。今回は「地域振興拡大検討ゾーン」を新たに設けた。これは製造業だけでなく商業施設なども含めて検討するもの。一般的に物流倉庫などは、大型車両の往来が激しく、住宅地に近い場所には不向きな側面がある。現時点で具体的な開発計画があるわけではないが、皆様からの意見を伺いながら検討していきたい。製造業であれば本社の移転等による雇用創出や賑わいの創出が見込まれ、人が来れば新しいビジネスチャンスができ、好循環が生まれてくる。商業施設であれば、高齢化も進む中で歩いて買い物に行ける場所ができるのはメリットがあると考えている。地権者の皆様が代々受け継いでこられた大切な土地であるため、この地域の将来を見据え、皆様と相談しながら、この地に相応しい開発のあり方を検討していきたい。

【参加者】 スマートインターチェンジ開設により、交通量の増加が予想される。特に岩倉総合高校の生徒が通学路として利用しているJA愛知西支店からライスセンターの前を通る東西の道路（農道）について懸念している。県道25号線が渋滞した際、抜け道として交通量が増える恐れがあるが、生徒の安全確保のために道路整備を検討してもらえないか。

【都市整備課長】 スマートインターチェンジの整備に伴う交通量の予測では、スマートインターチェンジが原因となって渋滞が発生するとは考えていないが、岩倉総合高校からは、安全に関する要望は受けており、岩倉総合高校西側の南北道路についての道路整備を検討している。指摘をいただいた東西の農道についても、広域的に交通状況を見ながら対応を検討していく。

【市長】 スマートインターチェンジの設置にあたっては、岩倉総合高校からも交通安全に関する要望をいただいている。道路を拡幅するというのは難しいが、できる限り安全対策を進めていきたいと考えている。

【参加者】 スマートインターチェンジの利用見込みはどれくらいになるか。

【都市整備課長】 現時点では具体的な数値をお示しできないが、今後も検討していき、改めてお知らせする。

【参加者】 萩原多気線は、広い歩道が整備されているが、なぜあんなに広い歩道になっているのか。自転車は車道を走るルールがあり、広い歩道があるのに高齢者が車道を自転車で走っていることがある。広い歩道の有効活用はどのように考えているか。

【建設部長】 萩原多気線の構造については、愛知県の道路構造の指針があり、それに基づいて県が道路幅を決めて整備をしている。あれだけ広い歩道があるのに自転車が車道を走るというのは、感覚的におかしいと思われるのは当然と感じている。ただ、今の歩道の幅で自転車と歩行者を分けて通すには、幅が足りていない。警察も明らかに危ない場所は歩道を自転車で走ってもいいとしているが、それが皆様に伝わっていないと警察からは聞いている。歩行者、自転車の安全対策は今後の課題であるため、県と検討していく。

【区 長】 開発業者から「他の多くの地権者が同意している」といった営業を受けているという話を地権者から聞いた。虫食い状態での開発は後々不便が生じると懸念しているが、市としてはどう考えているか。また、過去の工業団地整備等の際の実施事例があれば参考に教えて欲しい。

【建設部長】 開発の進め方については、市のマスタープランでどういう業種を市としては持ってきたいかを示しているが、特定することはできない。企業からこういう事業をやりたいという相談を受けることもあるが、市からこういう事業をしてくださいますか、これを建ててくださいという話をすることはできない状況である。

八剣町や川井町の事例では、まずは地権者の皆様で組織（組合等）を作り、窓口を一本化して企業と交渉してはどうかとお話した。大地町の中で組織を作っていただき、対応してもらおうとおかしな方向にはいかないのではと考えている。市としては道路の沿線だけ開発されて、その奥が開発されなくなるようなことは避けたい。

【市 長】 そのためのお手伝いはさせていただく。遠慮なく相談をしていただきたい。

【参加者】 市の南北路線に比べ、東西路線の整備が遅れていることへの危機感を持っている。岩倉市は利便性の良さがメリットだと私は考えている。道路の先ができないと行き止まりや、陸橋を越えた先の小牧市の藤島での渋滞などが残ったままになる。市はどのように捉えているか。

【市 長】 東西路線の重要性は認識している。そのため一宮市や小牧市だけでなく、国や県、あらゆるところに働きかけをしている。用地買収等の困難はあるが、地域の皆様の声が強いということも伝えていく。

【参加者】 「地域振興拡大検討ゾーン」について、今のままで「市街化区域」となることはありませんとあるが、工業区域等になることはあるのか。

【市 長】 市街化区域というのは、工業、商業、住居系すべてを含めたものとなる。この趣旨は地域振興拡大検討ゾーンに設定したことによって、直ちに市街化区域になるわけではないということ。仮にこの場所が開発をすることが決まったとして、区画整理事業をする場合などに市街化区域にすることはあるが、今回の地域振興拡大検討ゾーンへの設定だけで市街化区域にはならない。都市計画マスタープランでの市としての意思表示と考えていただきたい。

【参加者】 いつ頃その案は出たのか、いつ公開されたのか、経緯を教えて欲しい。なぜか昨年8月の時点で、業者から土地買収に関するダイレクトメールが届いていた。

【都市整備課長】 都市計画マスタープランは、昨年度から検討委員会で策定を進めた。5月、6月に素案を検討委員会に提示し、市のホームページにも資料を掲載した。その後、市民から意見をいただくパブリックコメントを昨年末に実施し、3月に改定した。

【参加者】 今回のようなタウンミーティングを、ぜひ今後も開催して欲しい。行政の方針を直接聞ける場があることで、市への信頼感にも繋がる。

【市 長】 計画の進捗や新しい情報がある際には、今回のようなタウンミーティングや説明会を開催したいと考えている。他のテーマでもタウンミーティングの制度をぜひ活用していただきたい。まちづくりには、皆様の意見がとても大切である。

【参加者】 以前、スマートインターチェンジの近くの場所が「物流の休憩所のような施設になる」という話を聞いた。今回そこが大地町と同じ地域振興拡大検討ゾーンになっているのは何か意味があるのか。

【市 長】 この地域について、具体的な話があることは把握していない。スマートインターチェンジ北側の一宮市側で区画整理事業においては、物流や商業施設など様々な可能性が想定されている。スマートインターチェンジに近い場所なので、岩倉市だけで考えるのではなく、一宮市側も含めて考えていく必要がある。地域にとって賑わいをもたらすような施設ができるといいと考えている。

【参加者】 スマートインターチェンジの名称に「岩倉」という名前は入らないのか。

【市 長】 ぜひ「岩倉」の名前を入れたいと考えている。NEXCO 中日本との交渉になる。ただ、名称変更にはシステムの改修などが必要で、億単位の費用がかかってしまう。既存のパーキングエリアの名称がルール上優先される状況ではあるが、豊田市では、費用を負担して名前を追加した例はある。岩倉市としてできる限りの努力をしていく。

3 その他

【参加者】 スマートインターチェンジによる経済効果は期待しているが、懸念される交通渋滞や通学路の安全対策について伺いたい。ガラス工場付近の道路は大型トラックが走る。スクールゾーンであり、現状でもガードパイプ等で一部対策されているが、小学生の通学時間は通行を控えてもらうような対策はできないか。工場に入る動線を裏手に回すことも考えて欲しい。以前、大口町では同様の箇所での死亡事故が起こった。工場との調整、配慮をしてもらいたい。

【市 長】 古くから岩倉のまちづくりに貢献していただいている企業ではあるが、子どもたちの安全が損なわれてはいけない。警察とも相談し、対策を検討していく。

【参加者】 先ほど、地権者で組織を作って対応するようアドバイスがあったが、多くの関係者がいる中で合意形成を進めるのは非常に困難だと思う。市として何課に相談すればいいのか。また、会合を開く際に市の担当者に参加してもらうことは可能であるか。どう進めていけばいいかアドバイスをしてもらいたい。

【建設部長】 八劔町や川井町の例では一度市に相談に来ていただいた後、順調に進んだのか、その後の相談はなかった。相談の担当課は都市整備課になる。過去の事例や、どのようにメンバーを構成すべきかといったノウハウについては、市として確認することができるので、相談して欲しい。

4 おわりの挨拶

- ・ 副市長

午後 3 時 終了